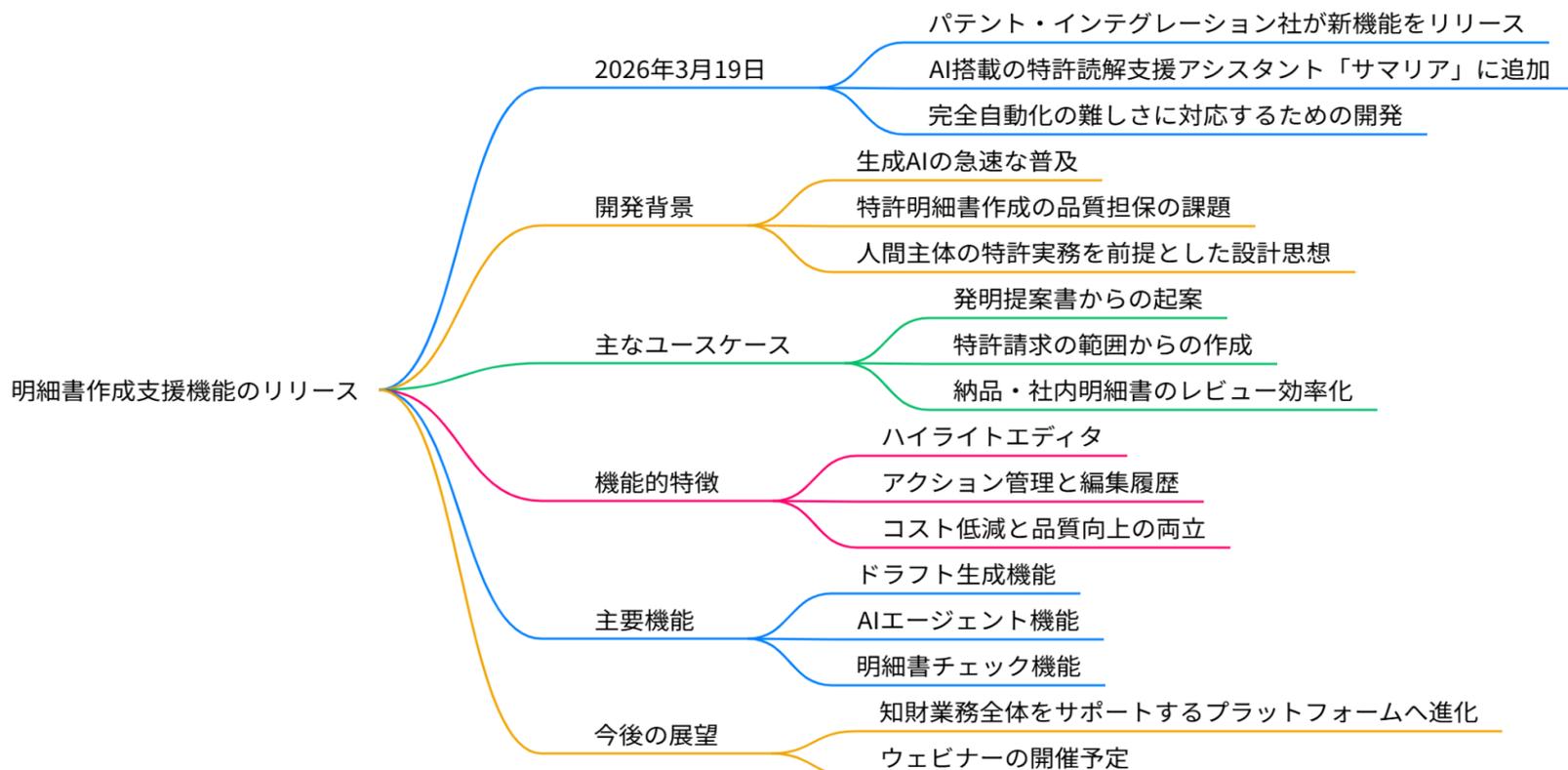


# 明細書作成支援機能を追加した Summaria の最新情報

Felo AI



## 概要

2026年3月19日、パテント・インテグレーション株式会社は、同社が提供するAI搭載の特許読解支援アシスタント「サマリア」に、新機能として「明細書作成支援機能」をリリースしました [14 18 27](#)。この機能は、近年の生成AI技術の急速な普及を背景としつつも、特許明細書作成における品質や実務適合性の観点から指摘される「完全自動化の難しさ」という課題に対応するために開発されました [1 7 17](#)。

本機能の最大の特徴は、単なる自動生成ツールではなく、「人間主体の特許実務」を前提とした設計思想にあります [1 4 7](#)。弁理士や知財担当者といった実務家の判断・確認を中心に据え、生成AIはあくまで補助的かつ高度な役割を担うことで、業務の効率化と成果物の品質向上を両立させることを目指しています [10 32 43](#)。

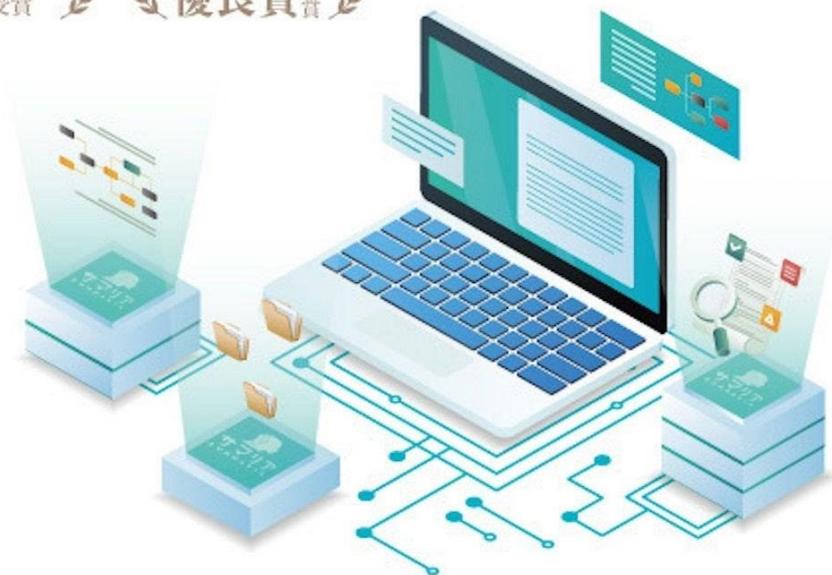
開発は、Udemyで3,000名以上の受講者を誇る国内最大規模の明細書作成講座を運営し、自身も弁理士・AIエンジニア

である同社 CEO の大瀬佳之氏が設計・監修を担当しました [157](#)。さらに、第一線で活躍する複数の弁理士とも連携しており、実務家の視点が色濃く反映されています [1743](#)。機能面では、発明提案書からの起案、既存クレームからの実施例作成、納品明細書のレビューといった多様な業務フェーズに対応可能な柔軟性を備えています [1713](#)。



## 特許文書の読解支援 AI アシスタント

サマリアは弁理士が開発した特許実務を支援するためのツールです



## 詳細レポート

### 開発背景と設計思想

近年、生成 AI の活用は知財業務においても急速に進展していますが、特許明細書のような高度な専門性と法的要件を伴う文書の作成においては、汎用 AI による完全な自動化は品質担保の観点から依然として困難とされています [443](#)。多くの実務家は、AI が生成した内容の妥当性評価や修正に多大な労力を要するケースを経験しており、実務フローへのシームレスな統合が課題となっていました [4](#)。

このような背景から、パテント・インテグレーション社は「人間主体の実務フロー」を核とするアプローチを採用しまし

た [1717](#)。これは、AI に全ての作業を委ねるのではなく、実務者が思考し判断するプロセスを AI がインテリジェントに支援するという思想です。具体的には、ゼロベースでの起案から、作成途中の加筆、さらには納品された明細書のレビューや修正まで、あらゆる段階で AI の支援を受けられるように設計されています [1717](#)。この「人間と AI の協働」を前提とした設計により、単なる作業時間の短縮だけでなく、従属項や実施例の拡充といった品質向上にも寄与することを目指しています [43](#)。

同社はこの分野における技術開発にも注力しており、生成 AI 利活用による明細書作成に関する重要特許（特許第 7744712 号）を取得するなど、技術的優位性も確保しています [1743](#)。

## 主なユースケースと利用導線

本機能は、特許実務における多様なシーンを想定し、柔軟な利用が可能です [1717](#)。

- **発明提案書からの起案:** 企業知財部での内製化を想定したユースケースで、発明提案書の内容を基に、特許請求の範囲（クレーム）の作成から AI が支援します [1717](#)。
- **特許請求の範囲からの作成:** 特許事務所や企業の弁理士が既に作成したクレームを基に、実施例などの詳細な記述を AI が支援して作成するケースです [1717](#)。
- **納品・社内明細書のレビュー効率化:** 特許事務所から納品された、あるいは社内で作成された明細書に対し、AI を活用して記載不備のチェックや内容の加筆・修正を効率的に行います [1717](#)。

これらのユースケースに対応するため、作業開始のインターフェースとして以下の 3 つの柔軟な導線が用意されています [1743](#)。

1. **特許請求の範囲から:** 既存のクレームを入力して開始。
2. **明細書下書きから:** 作成途中の明細書をインポートして開始。
3. **ゼロから:** 何もない状態から AI と対話しながら作成を開始。

## 3つの利用導線



### ゼロから作成

発明提案書 → 特許請求の範囲 → 実施例の順にAIが支援

想定：企業知財部門で明細書を内製しているケース



### ドラフトから作成（推奨）

特許請求の範囲から実施例を作成

想定：請求の範囲を自力で完成できる事務所弁理士・企業知財弁理士

推奨



### レビュー・加筆修正

作成済み明細書に対しAIが内容チェックと加筆修正

想定：特許事務所納品明細書のレビュー・修正

## 機能的特徴

人間とAIの協働を円滑にするため、独自のインターフェースと機能が実装されています [43](#)。

- **ハイライトエディタ**: 人間の視認性を最優先に考えたエディタです。キーワードのハイライト表示を維持したまま本文を直接編集できるため、AIが生成した箇所と人間が修正した箇所を直感的に把握しながら作業を進めることができます [43](#)。
- **アクション管理と編集履歴**: 人間による編集操作とAIによる生成・編集提案のすべてが「アクション」として時系列で記録・可視化されます。AIの提案はユーザーが「承認」して初めて本文に反映されるため、意図しない変更を防ぎます。また、全ての編集履歴が管理されており、いつでも任意の状態に差し戻すことが可能です [43](#)。
- **コスト低減と品質向上の両立**: 企業内での明細書作成（内製化）を支援することで外部委託コストの削減に貢献するだけでなく、AIの提案を活用して従属項や多角的な実施例を追加することにより、特許の権利範囲を強化し、明細書の品質向上を実現します [43](#)。

## 主要機能の詳細

具体的な明細書作成プロセスを支援するため、以下の3つの強力な機能が搭載されています。

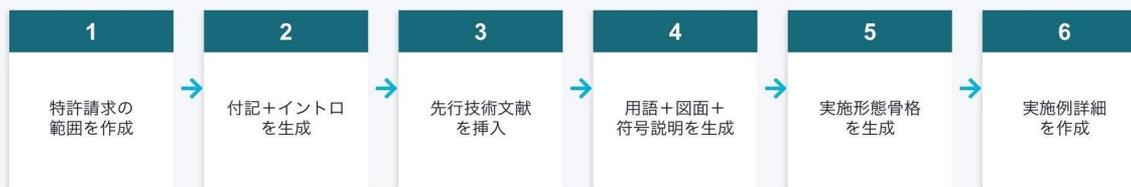
**1. ドラフト生成機能** 特許請求の範囲の作成から実施例の完成までを、段階的に支援する機能です [43](#)。ユーザーはAIと対話しながら、以下のステップでドラフトを構築していきます。

- **ステップ①**: 特許請求の範囲を作成

- ステップ②: 付記（効果説明）およびイントロを生成
- ステップ③: 先行技術文献を挿入
- ステップ④: 用語・図面・符号説明を生成
- ステップ⑤: 実施形態の骨格を生成
- ステップ⑥: 各構成要素グループごとの実施例詳細を作成

このプロセスでは、ユーザーが出力内容を調整するための補足情報を入力できるため、生成されるドラフトをより自身のイメージに近いものにすることが可能です [43](#)。

## 明細書作成の全体フロー（ドラフト生成機能）



### 各工程の共通サイクル



**2. AI エージェント機能** 明細書を構成する各ブロック（段落やセクション）に対して、個別に AI への指示を実行できる機能です [43](#)。「Ask（質問）」で AI に内容の解釈や要約を問い、その回答を確認した上で「Agent（編集）」で具体的な修正や追記を指示することができます。この 2 段階のアプローチにより、AI の挙動をコントロールし、品質を担保しながら効率的に作業を進めることが可能です [43](#)。

## AIエージェント機能 (Ask / Agent)

### Ask モード (質問)

明細書の内容に対して質問し、回答を得る。  
ブロックは変更しない。

- 請求項と実施形態の対応確認
- 課題と効果の整合確認
- 符号の使用状況の確認
- 記載場所の検索

### Agent モード (編集)

明細書のブロックを直接編集する。  
テキスト修正・挿入・削除・移動などを実行。

- テキスト修正・前記の統一
- 従属項の追加
- 実施例・変形例の追加
- ブロックの分割・結合・順序変更

Ask で確認 → Agent で修正 → 承認 のサイクルで品質を作り込む

**3. 明細書チェック機能** 作成された明細書に記載不備がないかを自動で検出する機能です [43](#)。50以上のルールに基づいてチェックを行い、これは同種のサービスの中でも最大規模のチェック項目数となります [43](#)。検出された不備は、クレームの従属関係の誤り、符号の不一致、用語の揺れなど多岐にわたります。各不備には重要度ランクが表示されるため、実務者は優先順位を付けて効率的に修正作業を進めることができます。パナソニック株式会社などの導入企業からは、このチェック機能、特にクレームツリーの可視化や用語・符号の統一に役立つとの評価が得られています [2](#)。

## 明細書チェック機能 (50以上のルールベースチェック)

50+

チェックルール

明細書作成支援サービスとして最大規模のチェックルールを整備

重要度A～Eのランク付きで対応優先度が一目でわかる。チェック結果から該当ブロックを直接編集・承認が可能。

#### 項目チェック

必須項目の記載 / 半角・全角混在 / 表・数式の参照 / JIS規格外文字

#### サポートチェック

クレーム語句のサポート / 数値限定の実施例サポート / 数値範囲の矛盾

#### 図面チェック

図面番号の存在確認 / 図面と明細書の符号一致

#### 誤字・表記ゆれ

誤字脱字 / 表記ゆれ / 冗長表現 / 口語表現

## 今後の展望と関連イベント

パテント・インテグレーション社は、「サマリア」を単なる読解支援や明細書作成のツールに留めず、特許調査・分析から出願、中間処理（拒絶対応）、権利化支援に至るまで、知財業務全体を包括的にサポートするプラットフォームへと進化させることを目指しています [4 5 28](#)。既に、拒絶理由通知への応答方針や意見書・補正書案を作成する機能もリリースされており [5](#)、今回の明細書作成支援機能の追加は、そのエコシステムを完成させる重要な一歩と位置づけられています。

この新機能のリリースに伴い、詳細な機能紹介を行うウェビナーが **2026年3月26日**に開催される予定です [29 31 43](#)。講師は開発を監修した大瀬 CEO 自らが務め、ユーザー以外にも参加可能です [43](#)。



The graphic is a promotional banner for a Summaria webinar. It features a teal background with white and yellow accents. On the left, the text 'Summaria Webinar' is written in white. Below it, '3月ウェビナー' (March Webinar) is written in black on a yellow background. A red starburst contains the text '新機能リリース' (New Feature Release). Below that, 'アップデート内容共有ウェビナー' (Update Content Sharing Webinar) is written in black on a yellow background. The date and time '2026年3月26日(木) 15:00~16:00' and the platform 'オンライン配信(Youtube)' are listed in white. At the bottom, '明細書作成支援機能' (Detailed Description Drafting Support Function) is written in black on a yellow background, accompanied by an icon of a document and a laptop. On the right, the Summaria logo is displayed, featuring a stylized head profile made of binary code above the Japanese characters 'サマリア' and the English word 'SUMMARIA'.

- [1. 生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース – PR TIMES](#)
- [2. オフライン生成 AI で、進化続ける明細書生成](#)
- [3. サマリアを活用して、実施例に使われた特定企業の製品名を抽出 ...](#)
- [4. 生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
- [5. 「サマリア」の大幅アップデートー 新機能「応答方針コメント/意見 ...](#)
- [6. 「明細書作成」に関するプレスリリース一覧 – PR TIMES](#)

7. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
8. [特許明細書作成支援ツール「appia-engine」新サービス/新機能のご ...](#)
9. [業界初※、特許無効化書面の作成支援機能をリリース - PR TIMES](#)
10. [パテント・インテグレーションが特許業務を変革する明細書 ... - VOIX](#)
11. [調査支援ツール | 特許文書読解アシスタント・サマリア](#)
12. [生成 AI を用いた特許明細書の自動作成に関する特許 - note](#)
13. [サマリアに「明細書作成支援機能」が加われました！ 発明提案書 ...](#)
14. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
15. [サマリアの操作体験してみた！ | LeXi/Vent 上村侑太郎 - note](#)
16. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース - BizAldea](#)
17. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
18. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
19. [サマリアのご紹介 - 株式会社知財の楽校](#)
20. [アプリケーション版 Word add-in typeALL+NEX](#)
21. [サマリア \(Summaria\) | 特許文書読解支援サービス](#)
22. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
23. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
24. [新機能「調査支援機能」のリリース・生成 AI を用いた特許調査、分類](#)
25. [知財担当者の方々に向けた AI による 特許文書読解アシスタント ...](#)
26. [サマリア \(Summaria\) を用いた侵害予防調査のスクリーニング - note](#)
27. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース - PR TIMES](#)
28. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
29. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
30. [出展者詳細 - 知財・情報フェア&コンファレンス](#)
31. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
32. [パテント・インテグレーションが特許業務を変革する明細書 ... - VOIX](#)
33. [サマリア \(Summaria\) | 特許文書読解支援サービス](#)
34. [ニュースリリース - パテント・インテグレーション](#)
35. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許 ...](#)
36. [第 2 回サマリアユーザ会レポート - 生成 AI と知財実務の最新動向 - note](#)
37. [サマリアに「明細書作成支援機能」が加われました！ 発明提案書 ...](#)
38. [特許検索競技大会の問題に「サマリア」が挑戦。集合上位 100 件 ...](#)

39. [業界初※、特許無効化書面の作成支援機能をリリース - PR TIMES](#)
40. [知財担当者の方々に向けた AI による 特許文書読解アシスタント ...](#)
41. [特許読解支援 AI アシスタント「サマリア」アップデート](#)
42. [複数の特許文書に対して一括で AI アシスタントへ質問することが ...](#)
43. [生成 AI を活用した明細書作成支援機能をリリース～人間主体の特許実務を前提に、品質と効率の両立を支援～ | パテント・インテグレーション株式会社のプレスリリース](#)
44. [Crawl failed](#)